

平成31年度 介護サービス従事者研修 実施計画

分類	研修No.	研修名	目的・テーマ	形式	開催回数等				対象者	定員 (人/回)	受講者数	講師(案)
					0.5	日×	2	回				
権利擁護・虐待防止	1	権利擁護セミナー(基礎編)	成年後見制度の意義や後見人の職務内容、手続きの流れ、制度で使われる主な用語の解説等、基礎的な知識を学ぶ	講義	0.5	日×	2	回	全事業者	100	200	権利擁護センター 成年後見センター等
	2	権利擁護セミナー(応用編)	事例に対して後見人として可能な支援をグループで討議し、成年後見制度を活用した具体的な対応方法を学ぶ	講義 演習	0.5	日×	2	回	全事業者	50	100	権利擁護センター 成年後見センター等
	3	身体拘束廃止セミナー	身体拘束の考え方、もたらす多くの弊害、身体拘束廃止のためのケアの見直し等について演習を通して学ぶ	講義	0.5	日×	3	回	全事業者	70	210	市内介護施設 グループホーム 事業者 身体拘束ゼロ推進施設等
	4	高齢者虐待防止セミナー	高齢者虐待の基本的考え方、定義、現状と問題点、日常ケアにおける尊厳のあり方等について学ぶ	講義 演習	0.5	日×	1	回	全事業者	100	100	学識経験者 (大学教授)等
リスクマネジメント	5	介護サービスリスクマネジメントセミナー(基礎編)	介護サービスにおけるリスクマネジメントの背景や目的と危険予知活動、ヒヤリハット報告書等の具体的な取り組みを学ぶ	講演会	0.5	日×	2	回	全事業者	70	140	リスクマネジメント 研究者(民間)等
	6	介護サービスリスクマネジメントセミナー(応用編)	介護事故の要因分析と再発防止策、事故発生時の対応等について、事例検討を通して学ぶ	講義 演習	0.5	日×	1	回	全事業者	100	100	学識経験者 (大学教授)等
	7	介護サービスリスクマネジメントセミナー(管理者編)	セクハラ・暴言・暴力対策等について、管理者として法的視点から見たリスクマネジメントを学ぶ	講義	0.5	日×	1	回	全事業者	50	50	学識経験者 (大学教授)等
基礎能力	8	介護サービスマナー研修/コミュニケーション技術研修	利用者に信頼される接遇のポイントとコミュニケーション技術を演習を通して学ぶ	講義 演習	1	日×	2	回	全事業者	70	140	学識経験者 (大学教授)等
人材育成	9	初任者研修(経験年数1~2年程度)	介護サービス従事者としての心構えやプロとして求められる基本的姿勢を学び、高齢者介護に必要な知識を身につける	講義 演習	1	日×	1	回	全事業者	100	100	学識経験者 (大学教授)等
	10	中堅者・指導者研修(経験年数3年以上)	リーダー、指導者的立場の従事者に求められる役割を理解するとともに、高齢者介護の理念、虐待防止について学び、必要な知識と技術を身につける	講義 演習	1	日×	2	回	全事業者	100	200	学識経験者 (大学教授)等
	11	管理責任者研修	介護サービス事業所の運営に当たり必要となる管理能力のスキルを身につけるとともに、高齢者介護の理念、高齢者虐待防止法について学ぶ	講義 演習	0.5	日×	2	回	全事業者	50	100	学識経験者 (大学教授)等
	12	メンタルヘルス研修	介護サービス従事者のストレス対処のために精神障害を防止するため、労働者自身によるセルフケアの促進、事業者による労働者への健康保持増進を図るための手法を学ぶ	講義 演習	0.5	日×	1	回	全事業者	100	100	学識経験者 (大学教授)等

平成31年度 介護サービス従事者研修 実施計画

分類	研修No.	研修名	目的・テーマ	形式	開催回数等				対象者	定員 (人/回)	受講者数	講師(案)
					0.5	日×	2	回				
専門講座	13	介護職のための医学講座1 高齢者の常用する薬について	介護職に必要な基礎的な医学について学ぶ	講義	0.5	日×	2	回	全事業者	100	200	医師 薬剤師等
	14	介護職のための医学講座2 感染症の予防対策	介護職に必要な基礎的な医学について学ぶ	講義	0.5	日×	2	回	全事業者	100	200	医師 看護師等
	15	介護職のための医学講座3 終末期医療・エンド・オブ・ライフケア	介護職に必要な基礎的な医学について学ぶ	講義	0.5	日×	2	回	全事業者	100	200	医師 看護師等
	16	介護職のための医学講座4 病状変化の判断(基礎編)	介護職に必要な基礎的な医学について学ぶ	講義 演習	0.5	日×	1	回	全事業者	100	100	医師 看護師等
	17	介護職のための医学講座4 病状変化の判断(応用編)	介護職に必要な医学について学んだことの活用方法を身につける	講義 演習	0.5	日×	1	回	全事業者	100	100	医師 看護師等
	18	介護職のための医学講座5 【事故防止】	○救急法～普通救命講習 ○高齢者の誤嚥予防について	講義	1	日×	2	回	全事業者	100	200	医師 看護師等
	19	介護職のための医学講座6 認知症高齢者の精神症状と心理	認知症高齢者の精神症状の理解と対応方法について、精神疾患との関係や心理学的知識を通じて援助方法を学ぶ	講義	0.5	日×	2	回	全事業者	100	200	精神科医 看護師等
	20	介護技術演習会 ノーリフティングケア	利用者・介護者双方にとって安全・安楽な方法を、演習を通じて具体的に学ぶ	講義 演習	0.5	日×	2	回	全事業者	40	80	理学療法士、作業療法士等
	21	対人援助スキルアップセミナー	セクハラ・暴言・暴力対策等について、心理的側面から問題を捉え、対人援助の技術を学ぶ	講義	0.5	日×	1	回	全事業者	100	100	学識経験者 (大学教授)等
	22	福祉用具事業講座1 (福祉用具の選び方)	福祉用具を貸与・購入する際の選び方について、介護を必要とする側と介護をする側の両方のニーズに合わせて適切に導入する方法を学ぶ	講義	0.5	日×	1	回	全事業者	30	30	理学療法士、作業療法士等
	23	福祉用具事業講座2 (福祉用具サービス計画書の作成)	報酬改定にあたり、福祉用具貸与計画書の作成や利用者・ケアマネージャーへの説明の方法等について、学ぶ	講義	0.5	日×	1	回	全事業者	30	30	理学療法士、作業療法士、福祉用具専門相談員等
	24	腰痛予防講座1 (福祉用具を使った介護技術)	介護職員の腰痛予防(負担軽減)を目的として、「力任せの介護」ではなく、福祉用具を適切に使った介護技術を学ぶ	講義 演習	0.5	日×	2	回	全事業者	40	80	理学療法士、作業療法士等
	25	腰痛予防講座2 (作業姿勢・腰痛体操)	介護職員の腰痛予防(負担軽減)を目的として、身体への負担の少ない作業姿勢や、腰痛を予防・改善する方法を学ぶ	講義 演習	0.5	日×	2	回	全事業者	40	80	理学療法士、作業療法士等

平成31年度 介護サービス従事者研修 実施計画

分類	研修No.	研修名	目的・テーマ	形式	開催回数等				対象者	定員 (人/回)	受講者数	講師(案)
					0.5	日×	2	回				
介護予防	26	介護予防セミナー① 運動器機能向上	運動器の機能向上により、自立支援を目指したサービスの在り方について、手法や技術を演習を通じて学ぶ	講義 演習	0.5	日×	2	回	全事業者	50	100	地域包括支援センター 理学療法士等
	27	介護予防セミナー② 口腔ケア	口腔ケアの対応と必要性を学び、口腔機能の向上を目指す	講義 演習	0.5	日×	2	回	全事業者	50	100	歯科医師又は歯科衛生士 地域包括支援センター
大規模	28	講演会	内容未定(大ホール規模を想定)	講演会	0.5	日×	1	回	全事業者	300	300	未定
ケアマネ	29	ケアマネジメントセミナー (基礎編)	ケアマネジメントの目的、課題抽出のプロセスを学ぶことで、自立支援に資するマネジメントと行う技術を演習を通して養う	講義 演習	1	日×	1	回	介護保険施設・特定施設・地域密着型サービス・居宅介護支援	30	30	学識経験者 (大学教授) 事業者等
	30	ケアマネジメントセミナー (スキルアップ編)	事例検討(グループスーパービジョン)を通じて自身のケアマネジメントを振り返るとともに、ケアマネジャーとしての能力の向上を図る	講義 演習	1	日×	2	回	介護保険施設・特定施設・地域密着型サービス・居宅介護支援	30	60	学識経験者 (大学教授) 事業者等
医療連携	31	医療連携スキルアップセミナー	在宅における健康管理の方法や、医療の必要性の判断など、医療連携のポイントと連携する手法について学ぶ	講義 演習	0.5	日×	2	回	通所介護、訪問介護、特定施設、地域密着型サービス、居宅介護支援	50	100	学識経験者 (大学教授) 医師会等
訪問介護	32	訪問介護スキルアップ研修	家事援助と介護予防の関係を理解するとともに、訪問介護に求められる支援の方法や記録の書き方、多職種との連携など、訪問介護に必要な知識を学ぶ	講義 演習	0.5	日×	2	回	訪問介護(定期巡回型、夜間対応型含む)、小規模多機能(複合型含む)、居宅介護支援	30	60	学識経験者 (大学教授) 事業者等
通所介護	33	通所介護・通所リハビリスキルアップ研修	通所介護・通所リハビリに求められる支援の方法や、多職種との連携の必要性など、通所介護・通所リハビリに必要な知識を学ぶ	講義 演習	0.5	日×	2	回	通所介護、通所リハビリ、小規模多機能(複合型含む)、居宅介護支援	50	100	学識経験者 (大学教授) 事業者等
合計							55				3990	

研修名	目的	形式	開催回数等	対象	講師(案)
出張研修	介護保険制度の適正な運営及び人材の育成に資するため、業務の都合により介護サービス従事者研修への参加が難しい小規模事業所を対象に、ケアの質の向上に資する出前研修を実施する	講義 演習	24 事業所	訪問介護事業所、地域密着型通所介護事業所、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護事業所	認知症介護指導者